

初年次キャリア教育の授業で実施する

熟議2011 in 三重大学 対話と協働 ～未来に向けて～

日時: 2011年7月16日(土)、会場: 三重大学三翠ホール(小ホール・ホワイエ)

主催: 国立大学法人 三重大学
共催: 文部科学省、三重県、三重県教育委員会



「熟議1回目」の準備は、

共通教育科目
「キャリア形成・能力開発」受講生33名

担当教員: 宮崎 冴子

「熟議」本番まで、3か月(14週目)

課題は、

- ・熟議は、授業の教材になり得るか？
- ・大学1年生が、運営できるのか？
- ・地域連携は、本当に大丈夫か？

授業で、熟議「若者の就労について」



授業で、熟議「若者の就労について」



地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議

熟議2011 in 三重大学 対話と協働～未来に向けて～

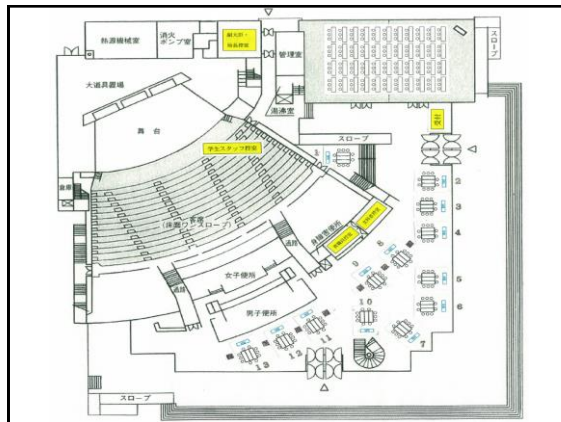
- | | | |
|-------------|--------------|-------------------|
| 13:00 | 開会 | 総合司会 学生実行委員長 |
| 13:03 | 主催者挨拶 | 三重大学長 内田淳正 |
| 13:10 | 文部科学省挨拶 | |
| 13:25 | 三重県挨拶 | 三重県副知事 安田敏春 |
| 13:30 | | (会場移動・グループワークの準備) |
| 13:40 | 熟議(前半)スタート | (ホワイエ) |
| 14:50 | | (休憩 10分) |
| 15:00 | 熟議(後半)スタート | |
| 16:10 | 全体発表スタート | (小ホール) |
| | | (企業、教育関係者等からの感想) |
| 17:00 | 全体の講評 | 文部科学省 |
| 17:10 | 今後の全国縦断熟議の展開 | 文部科学省 |
| 17:20 | 閉会のことば | 三重大学理事(教育担当) 田中晶善 |
| 17:25 | 全体終了 | 学生実行委員長 |
| 17:30～19:00 | 意見交換会・交流会 | (第2食堂) (敬称略) |

サブテーマ

A.教育:「確かな学力」と「豊かな人間性」を備えるための学校における方策づくり(1~4班)

B.就労: 職場で求められる人になるために今すべきこと(5~9班)

C.地域: 地域の人々と絆を深めるために私たちができること(10~13班)



熟議前半(65分)

- ① 自己紹介をする(1人1分)
 - ・所属・名前
- ② 課題を書き出す(5分)
 - ・ポストイット1枚に1件
 - ・1~2行程度の短いフレーズで書く
- ③ 課題について熟議し、分野別に整理する(50分)
 - ・出した課題について発表し、熟議する(1人2分ずつ)
 - ・課題をジャンル別に整理し、模造紙左側にまとめる

9~10名×13班で、「熟議」本番中!

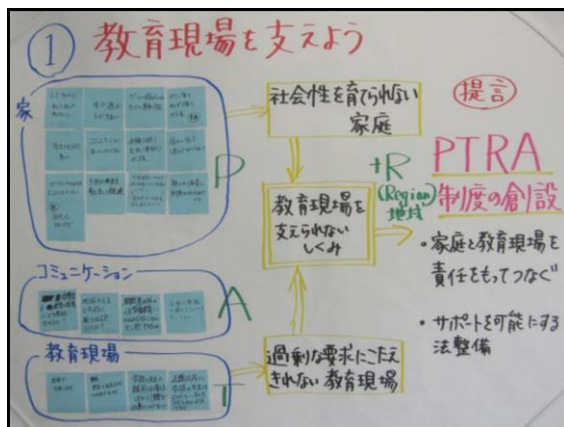


熟議後半(60分)

- ① 3~5つの重要課題を選ぶ
- ② 選んだ課題に対する解決策(提言)を考える
 - 課題解決に対する意見交換を行う
 - 模造紙右側にマジックで提言をまとめる
- ③ パワーポイント4枚にまとめる(PC担当)
 - 1枚目: グループ毎のテーマ、参加者の名前一覧
 - 2枚目: 発見した課題
 - 3枚目: 具体的な提言
 - 4枚目: 各自の感想、宣言等



全体発表会 (テーマ+課題+提言+自由欄=スライド4枚で各班が3分間スピーチ)



教育分野: 1班

テーマ: PTR A創設 教育現場を支えよう

発見した課題

- 1: 社会性を育てられない家庭
- 2: 過剰な要求に答えきれない教育現場
- 3: 教育現場を支えきれない仕組み

提言

PT(R)A制度の創設

P=親
T=先生
R=Region
A=コミュニケーション

- ① 家庭と教育現場を責任を持ってつなぐ
- ② サポートを可能にする法整備

意見交換会・交流会



評価 (全参加者182名)

* 参加者 (95名 = 有効回答率52.2%)
全体的に「非常に満足+やや満足」=88.4%

* 学生による授業評価 (31名 = 有効回答率93.4%)

- ① 授業に総合的に満足=4.61(5段階)
- ② 討論・対話力=73.0%、社会人としての態度=71.0%、課題探求・感性=67.7%、モチベーション、問題解決力、情報発信力
指導力・協調性=64.5%

成果

人生の先輩から刺激のシャワーを浴びて、

- ☆ 地域連携できた!
- ☆ 「熟議」は素晴らしい教材!
- ☆ 1年生が大きく成長した!

課題

- ☆ まとめに、もう少し時間が時間があれば
- ☆ ファシリテーターの更なるスキルアップ